

# 研究名：リンパ管腫およびリンパ管腫症における硬化療法による予測縮小率の検討

## 1．研究の目的

リンパ管腫、リンパ管腫症は整容性・機能性・出血や感染のリスクなどの観点から治療が必要になる疾患です。硬化療法は効果的な治療法であり手術療法と比較して侵襲が少ないですが、どの程度縮小するかを予測することが困難です。今回は治療前後の画像評価から縮小率を検証します。

## 2．研究の方法

研究対象：当センターにて2010年4月～2021年10月までにリンパ管腫またはリンパ管腫症と診断された方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2023年3月31日

研究方法：対象患者さんの硬化療法治療前後の画像検査（超音波、CT、MRI）を用いて治療効果を判定し、縮小度を予測することが可能であるかを検証します。

## 3．研究に用いる情報の種類

病歴、検査データ、副作用等の発生状況、等

硬化療法治療前後の画像検査（超音波、CT、MRI）を用いる。CT、MRIはDigital Imaging and Communication in Medicine(DICOM)画像を、OsiriX MDを用いて定量化します。

## 4．情報の公表

研究内容は学会発表や学术论文の形で公表する予定です。

## 5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

## 6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部 外科 橋詰直樹

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：9855）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部 外科 橋詰直樹